

抜群のロケーションを生かした都会のナチュラル

マンション 夫婦(40代)+子供1人 延床面積: 100.67㎡

港区白金台、東南に向いた角部屋、窓から見えるのは周囲の豊かな自然、という恵まれたロケーションを生かすようにプランニングされて生まれ変わったS邸です。リビングダイニングは、緑がよく見えるように、と南面いっぱいに沿ってつくられたワンルーム形式。建具や家具も、周りの緑と相性のよいナチュラルなものを選びました。すべての部屋にエアコンの吹出しがつくようにとダクトをまわしたため、天井はリビングルームがアールを描きながら1段上がる形にしました。この曲線やライティングの工夫がシンプルな空間のアクセントです。



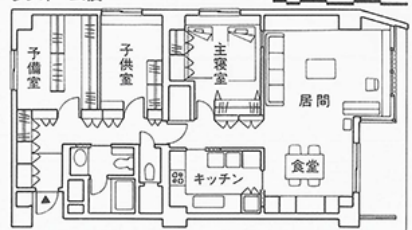
リビングの壁面収納はアルフレックスのテーブルと色を合わせ、ポイントにローズウッドを使用しました。構造柱の部分は収納にできないので、扉と同じ板を張って一体に見せています。もし一部だけ白壁だったら、と想像頂ければ、この「収納」を意識させない工夫がデザインです。取っ手をつけなかったのも同じ理由から。出窓から梁があるあたりまでの小さな空間はライティングに配慮しました。夜にはまるでスポットライトに照らされた舞台のよう。

スペース上はリビングと一続きですが、天井の掘り込みとライティングをデザインすることにより空間のまとまりを感じさせるダイニングです。ガラスの飾り棚は鏡張りで空間を広く見せ、上からの光でshopのよう。造作家具は壁から壁、床から天井の1面を使ってデザインすることで空間が引き締まります。

リフォーム前



リフォーム後



S:1/100

右: キッチンからダイニングを見る。右手のカウンターに続いたガラリ戸の中には洗濯機と乾燥機を収納。背面には冷蔵庫が2台あります。あるべきところにあるべき収納の工夫ですね。

中: 格子の小窓は寝室と通じています。アクセントにもなるし、何よりリビングと寝室両方の窓から風が抜けて気持ちがいいと施主に好評です。完全にクローズすることが出来る扉も隠されています。

左: 玄関からリビングへ通じる廊下には壁面一杯に収納を設けました。ここは奥行き20センチの薄い棚。洗剤のストックからタオル、靴きものなど、この薄さと長さがポイントです。壁と一体に見えるようデザインしたので、自然と奥のグリーンや施主お気に入りのアートに目が行きます。これが空間を広く見せるポイントです。

